

《記入例》

一般廃棄物 処分実績報告書 <令和4年度実績> (一般廃棄物処分量)

作成日 令和5年〇月〇日

神戸市長宛

処分実績の有無 (いずれかに〇印をつけてください。)	〇	有
		無 無しの場合は、「別紙」の入力は不要です。

報告者	法人名	〇〇株式会社
	代表者名	代表取締役 〇〇 〇〇
	電話番号	078-XXX-XXXX

一般廃棄物の処分実績について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第18条第1項の規定により、次のとおり報告します。

一般廃棄物の処分実績状況	別紙のとおり。 ※年間の受入量の合計を、右欄に記載してください。	一般廃棄物の年間受入量	2500	t/年
受け入れた一般廃棄物が資源化できなかった場合の措置等 ※ 一般廃棄物の種類・量、資源化できなかった理由、措置の内容・年月日を記入して下さい。	(記入例) 破砕施設が故障したため、木くず〇〇tが資源化できなかった。 このため、令和〇年〇月〇日に排出者である(株)〇〇に、 木くず〇〇tを返却した。			

《記入例》（別紙）一般廃棄物 処分実績状況 <令和4年度実績>

通し 番号	排出事業者及び一般廃棄物の発生場所			一般廃棄物の種類	一般 廃棄物 コード	一般廃棄物 の処分量	単位	処分方法	処分 方法 コード
	排出事業者名	発生場所 (神戸市内・市外の別)	発生場所 コード						
1	〇〇〇〇(株)	神戸市内	1	木くず	800	1000	t	破碎	34
2		神戸市内	1	木くず	900	1000	t	減容固化	15
3	(株)●●●●	神戸市内	1	繊維くず	900	200	t	減容固化	15
4	(株)●●●●	神戸市外	2	食品残渣	1000	800	t	飼料化	12
5	〇〇〇〇ストア	神戸市外	2	食品残渣	1000	500	t	堆肥化	11
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
	①廃棄物の種類や処分方法が異なる場合 →種類・処分方法ごとに記入してください。 ②発生場所が神戸市内、神戸市外の両方ある 場合			発生場所を選択すると、自動的に入力	一般廃棄物の種類を選択すると、自動的に入力されます。				
18									
19									
20									
21									
22	入力する行が足りなくなった場合、行をコピーし一番下の欄に継ぎ足してください。								